

令和元年青森県人口動態統計(概数)の概況 <概要版>

調査結果のポイント

1 **出生数**は減少が続いており、過去最少。合計特殊出生率は近年、低下しているが、全国を上回った。

- ・出生数 H30: 7,803人 → R1: 7,170人(▲633人)
- ・合計特殊出生率 H30: 1.43(全国35位) → R1: 1.38(▲0.05)(全国35位)
- ※全国 H30: 1.42 → R1: 1.36(▲0.06)

2 **死亡数**は増加し続けており、死因第1位の悪性新生物、第2位の心疾患、第3位の脳血管疾患で全体の5割。悪性新生物及び心疾患の死亡率は上昇傾向。脳血管疾患の死亡率は横ばい傾向。

	死亡数(人)			死亡率(人口10万対)		
	H30	R1	増減	H30(全国順位)	R1(全国順位)	増減
総数	17,936	18,424	+488	1,425.8	1,485.8	+60.0
悪性新生物	4,947	5,124	+177	393.2 (2)	413.2 (2)	+20.0
心疾患	2,684	2,806	+122	213.4 (12)	226.3 (7)	+12.9
脳血管疾患	1,666	1,610	▲56	132.4 (4)	129.8 (5)	▲2.6
糖尿病	254	223	▲31	20.2 (1)	18.0 (1)	▲2.2

3 **乳児・新生児・周産期死亡率**はいずれも上昇。5年単位の比較では、直近5年間の死亡率が、それ以前の5年を上回った。

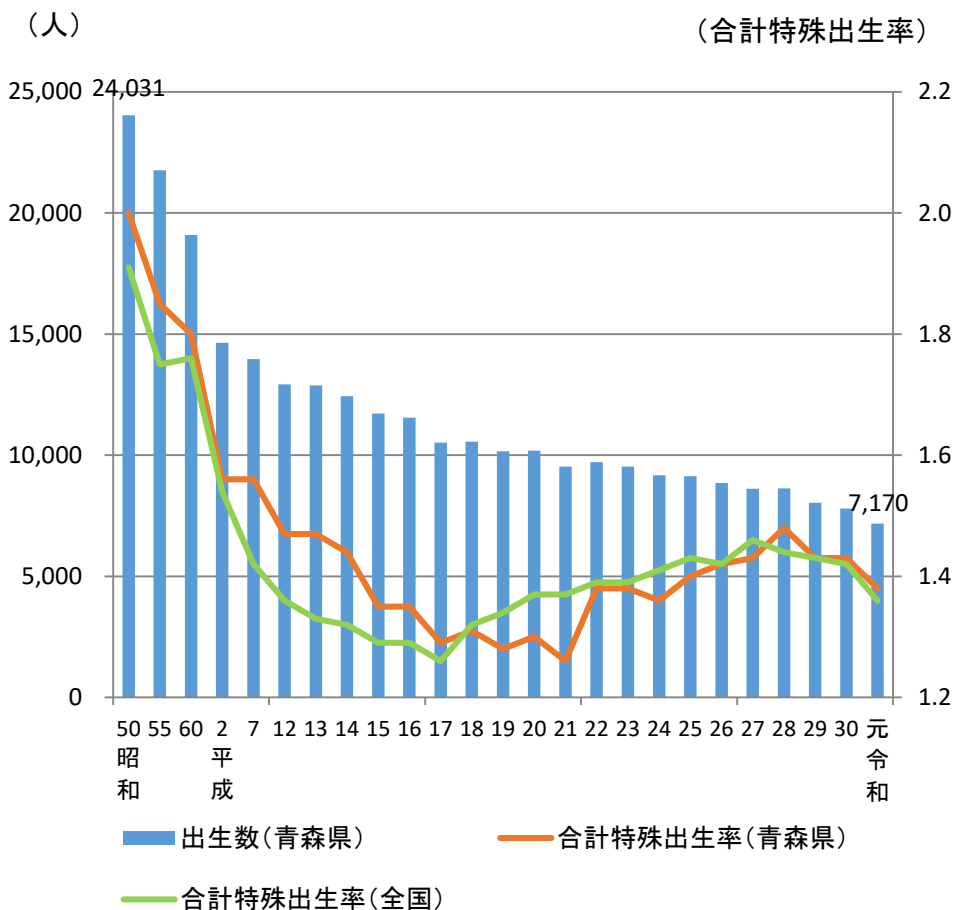
	死亡率			死亡率(5年比較)		
	H30	R1	増減	H22~26	H27~R1	増減
乳児死亡率(出生千対)	1.9	3.2	+1.3	2.13	2.34	+0.21
新生児死亡率(出生千対)	1.3	2.1	+0.8	1.08	1.47	+0.39
周産期死亡率(出産千対)	2.7	5.0	+2.3	3.68	3.84	+0.16

4 **自殺者数**は減少を続け、過去最多の平成15年の4割を下回った。

- ・自殺者数 H30: 259人 → R1: 209人(▲50人)
- ・自殺率(人口10万対) H30: 20.6(全国2位) → R1: 16.9(▲3.7)(全国17位)

1 出生数は減少が続いており、過去最少。 合計特殊出生率は近年、低下しているが、全国を上回った。

・出生数 H30: 7,803人 → R1: 7,170人 (▲633人)
 ・合計特殊出生率 H30: 1.43 (全国35位) → R1: 1.38 (▲0.05) (全国35位)
 ※全国 H30: 1.42 → R1: 1.36 (▲0.06)



【県の取組】 ※新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、延期、中止となることもあります。

1 「みんなで子ども・子育てを応援！」推進事業

- 労働者の仕事と子育ての両立への希望を実現するため、「働き方改革」に取り組む企業を認証・支援する「あおり働き方改革推進企業認証制度」の更なる普及、社会全体で子育てを応援する気運を醸成する「みんなで子ども・子育てを応援！」キャンペーン事業等の実施

2 乳幼児はつらつ育成事業

- 未就学児を対象に市町村が給付した医療費の自己負担の2分の1を助成
→ 平成30年10月から保護者の所得制限をこれまでの約2倍まで緩和

3 地域子ども・子育て支援事業

- 市町村が実施する病児保育や一時預かりなどの地域子ども・子育て支援事業への取組を促進し、満足度の高い保育を推進

4 家庭福祉対策教育支援貸付費補助事業

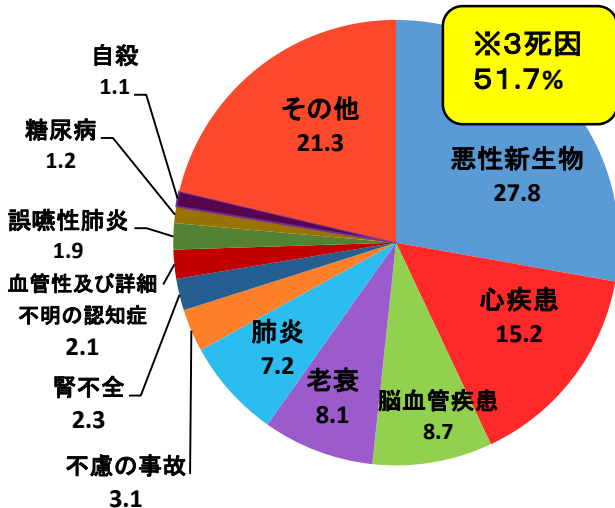
- 大学進学にあたり必要となる費用の捻出が困難な世帯や、児童養護施設入所児童等に対し奨学金を貸付

2 死亡数は増加し続けており、死因第1位の悪性新生物、第2位の心疾患、第3位の脳血管疾患で全体の5割。

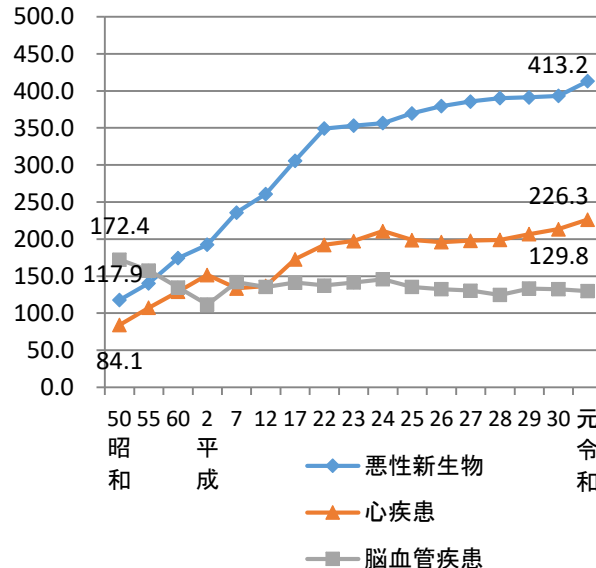
悪性新生物及び心疾患の死亡率は上昇傾向。脳血管疾患の死亡率は横ばい傾向。

	死亡数(人)			死亡率(人口10万対)		
	H30	R 1	増減	H30(全国順位)	R 1(全国順位)	増減
総数	17,936	18,424	+488	1,425.8	1,485.8	+60.0
悪性新生物	4,947	5,124	+177	393.2 (2)	413.2 (2)	+20.0
心疾患	2,684	2,806	+122	213.4 (12)	226.3 (7)	+12.9
脳血管疾患	1,666	1,610	▲56	132.4 (4)	129.8 (5)	▲2.6
糖尿病	254	223	▲31	20.2 (1)	18.0 (1)	▲2.2

○令和元年死因別構成比



(人口10万対)



【県の取組】 ※新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、延期、中止となることもあります。

1 がんの早期発見・早期治療のための取組

働き盛り世代とその家族のがん検診に関する環境整備、市町村が行う大腸がん検診の未受診者対策の支援、がん検診の精度向上に向けた市町村への助言等

2 青森県健康経営認定制度の推進

県内「健康経営®」(*)に取り組む事業所を青森県健康経営事業所」と認定し、働き盛り世代の健康づくりを推進(R2.5.25現在で248事業所を認定)

(*) 「健康経営®」：特定非営利活動法人健康経営研究会の登録商標

3 女性発信！ 農業者・漁業者の健やか力向上事業

農協、漁協の女性部と連携し第一次産業就業者の健康づくりの取組事例集を作成し広く普及

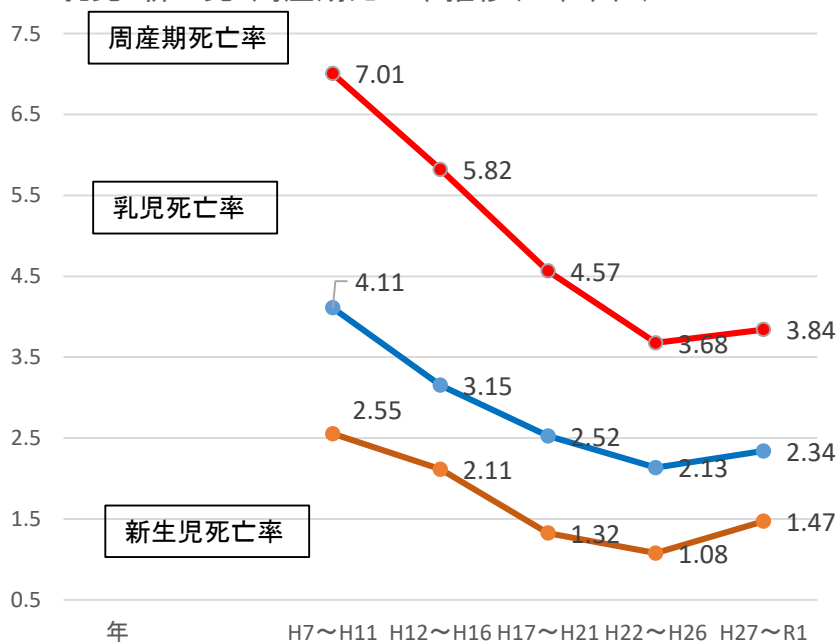
4 糖尿病と歯周病を切り口とした医科・歯科連携事業

相互に影響を及ぼす糖尿病と歯周病について、医科歯科連携体制の検討、構築及び医科歯科合同研修会等の開催による両疾患の関連について普及啓発

3 乳児・新生児・周産期死亡率はいずれも上昇。5年単位の比較では、直近5年間の死亡率が、それ以前の5年を上回った。

	死亡率			死亡率(5年比較)		
	H30	R1	増減	H22~26	H27~R1	増減
乳児死亡率(出生千対)	1.9	3.2	+1.3	2.13	2.34	+0.21
新生児死亡率(出生千対)	1.3	2.1	+0.8	1.08	1.47	+0.39
周産期死亡率(出産千対)	2.7	5.0	+2.3	3.68	3.84	+0.16

乳児・新生児・周産期死亡率推移(5年単位)



【県の取組】 ※新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、延期、中止となることもあります。

1 青森県立中央病院総合周産期母子医療センター(平成16年10月から稼働開始)を中心とした「青森県周産期医療システム」の運用

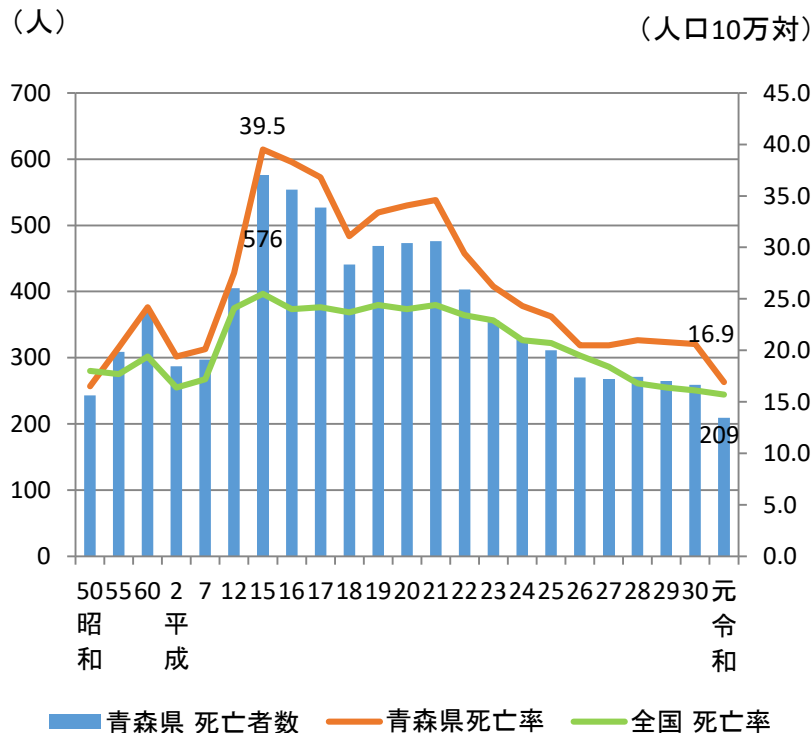
- ・総合周産期母子医療センター、地域周産期母子医療センター等の機能分担と連携による24時間対応可能な周産期の救急対応
- ・母体・胎児搬送及び新生児搬送、並びに母体胎児集中治療室(MFICU)、新生児集中治療室(NICU)等の確保を含めた周産期医療の提供が可能な体制

2 ハイリスク妊産婦への支援強化

- ・総合周産期母子医療センターを利用する患者・家族のための待機宿泊施設(ファミリーハウスあおもり)開設による利便性向上・負担軽減
- ・周産期母子医療センターに遠方から通院するハイリスク妊産婦が早期から安心して治療を受けられるよう、交通費等の支援体制を整備

4 自殺者数は減少を続け、過去最多の平成15年の4割を下回った。

・自殺者数 H30: 259人 → R1: 209人(▲50人)
 ・自殺率(人口10万対) H30: 20.6(全国2位) → R1: 16.9(▲3.7)(全国17位)
 ※前年比82.0%は全国1位の減少率



【県の取組】 ※新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、延期、中止となることもあります。

1 いのち支える青森県自殺対策計画の推進

(1) 重点施策4分野の取組推進

高齢者対策、生活困窮者対策、勤務・経営問題対策、子ども・若者対策のそれぞれのリスク要因に着目した効果的な支援

(2) 包括的基盤強化事業

広く県民に向けた相談窓口の周知やワンストップ型の相談事業等の実施、自殺対策を民間レベルで推進する団体への支援、自殺未遂者支援、職域におけるゲートキーパー養成など幅広い取組

(3) 市町村自殺対策計画推進の支援

住民の暮らしに密着した地域の特性に応じた自殺対策が推進されるよう、市町村支援を強化